

防染タオルの仕上がりについて

ご注文の前にお読みください

「防染（ぼうせん）」＝「白抜き」とは

デザイン部分に、糊（のり）を置き、タオルをまるごと染料に浸して染め上げる、昔ながらの技法です。糊を置いた部分が白く残るので「白抜き」とも呼ばれます。糸をまるごと染めるため、表も裏も、しっかりと染まり、色に深みが出ます。お祭りやお祝いの場に、今も好まれています。

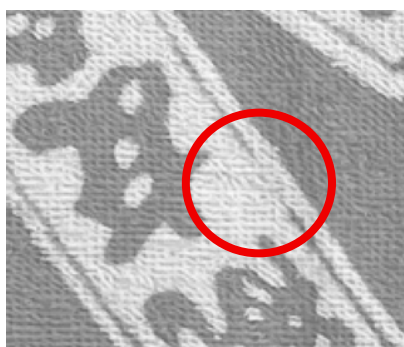
「防染」ならではの、の仕上がりとして

糸の奥まで染まった深い色あいと手仕事の風合いが防染の持ち味です。一方で、色飛びやかすれ、にじみやつぶれ、染めむらが出ることがあります。それも防染の特徴ですので、ご理解を頂きご注文ください。また染め工程上、タオルの両端部分（ミミ）が裏表逆になる商品ができますが、不良ではございません。

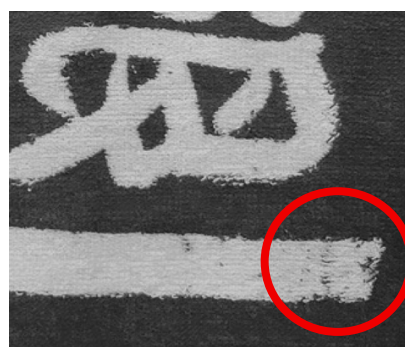
【これらも防染の特徴です】



色飛び



つぶれ



染めむら

■デザインについて

白となる線が細いデザイン、白場が少ないデザインなどどうしてもつぶれやすいため、線を太くするなどの修正をご相談する場合があります。あらかじめご了承ください。なお、デザインになるべく忠実・均一な仕上がりをご希望の場合は、プリントやジャカードなどをおすすめしております。

■返品・交換とお取り扱いについて

上記のような仕上がりを理由とする返品・交換は、原則としてお受けできません。はじめのうちは色落ちしますので、数回は分けて洗濯し、塩素系漂白剤は避けてください。ご了承の上、ご注文をお願い致します。